

仕様 ②

品番	商品名	規格	スタンダード	両腸骨 L型	恥骨L型	恥骨/ 両腸骨
1-501-013-50	側臥位用手術架台	ML-1st スタンダードタイプ	☆			
1-501-013-60	側臥位用手術架台	ML-1st 両腸骨 L型コネクタータイプ		☆		
1-501-013-70	側臥位用手術架台	ML-1st 恥骨 L型コネクタータイプ			☆	
1-501-013-80	側臥位用手術架台	ML-1st 恥骨 / 両腸骨タイプ				☆
【構成】						
1-501-013-02	ML-1st 用ベースフレーム	全長 715mm × 全幅 500mm				1
1-501-013-10	ML-1st 用ベースフレームマット					1
1-501-013-11	ML-1st 用腋窩枕					1
1-501-011-70	ロッドプッシャー					1
1-501-013-03	ML-1st 用胴受け取付バー	Lサイズ				2
1-501-013-13	ML-1st 用胴受け取付バー	Mサイズ	2	2	1	2
1-501-013-23	ML-1st 用胴受け取付バー	Sサイズ	—	—	1	1
1-501-012-27	L型コネクター	コネクター固定ボルト 2個セット	4	4	3	4
1-501-012-28	L型コネクターロング	コネクター固定ボルト 2個セット	—	1	1	1
1-501-011-05	丸型胴受け M	φ70mm × 棒長 180mm	2	3	2	3
1-501-011-06	角型胴受け M	縦 150mm × 横 60mm × 棒長 180mm				2
1-501-013-07	丸型胴受けマット M	φ90mm × 厚さ 30mm	2	3	2	3
1-501-013-08	角型胴受けマット M	縦 175mm × 横 85mm × 棒長 30mm				2

数字は構成品の入数です。

アクセサリ

品番	商品名	規格
1-501-000-52	マットカバー丸型マット M	1箱 50枚入り
1-501-000-53	マットカバー角型マット M	1箱 50枚入り

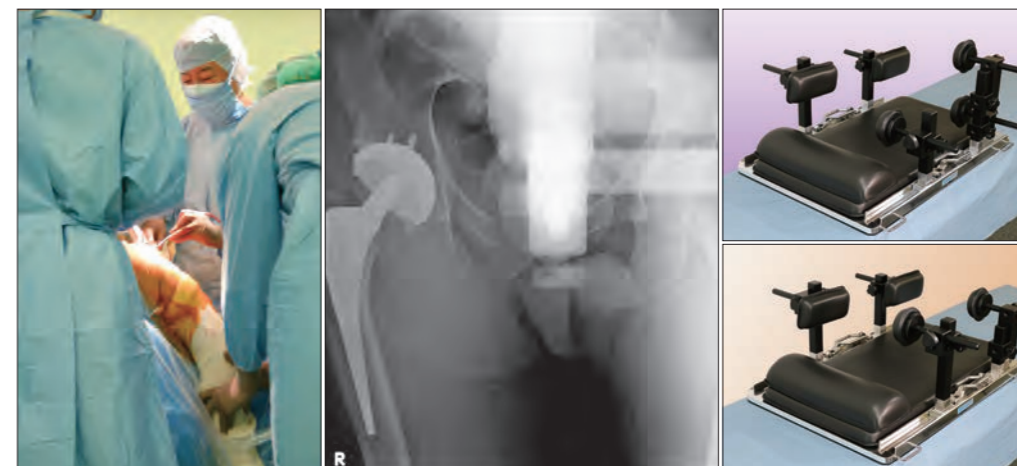


製造販売元
株式会社 **イソメディカルシステムズ**
本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-8
問合せ先 〒277-0863 千葉県柏市豊四季 495-14
TEL 04(7141)4021 FAX 04(7141)4022
URL: <https://www.isomed.co.jp/>
側臥位用手術架台 品目届出番号: 12B1X10016000060

2104 500 PP

側臥位用手術架台 ML-1st

HIP POSITIONER ML-1st



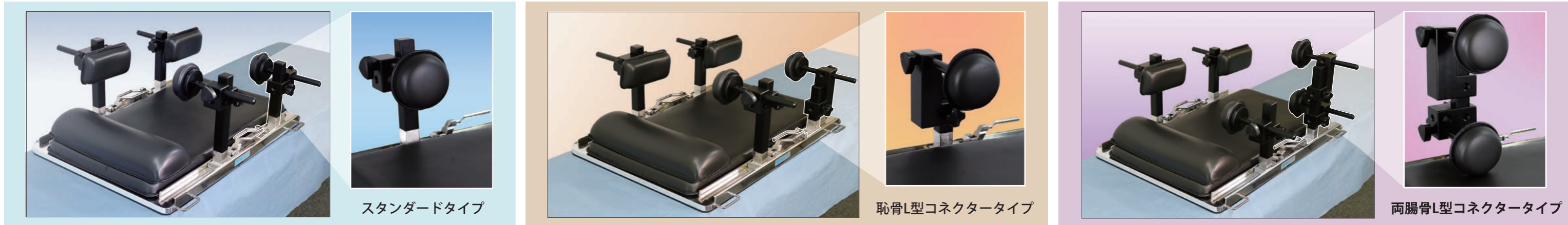
株式会社 **イソメディカルシステムズ**

HIP POSITIONER ML-1st

側臥位用手術架台 ML-1st
筑波大学 整形外科 准教授 三島 初先生 監修

仕様 ①

骨盤部前方の胴受けマットの組み方によって恥骨や両腸骨（上前腸骨棘）での固定方法を選択できます。



※【恥骨 / 両腸骨タイプ】は上記3タイプ全ての固定方法が可能です。

特長

側臥位用手術架台ML-1stは側臥位による手術、とりわけ股関節部の手術において術者の要求するポジションが得られるようにデザインされた製品です。

頭尾側などの調整も容易なため様々なアプローチ（後側方進入・前側方進入）にも対応できます。



後側方進入



前側方進入



1 ラジオルーセント

体をサポートする部分に樹脂を使用しているため、X線写真撮影の妨げになりません。

2 優れた体圧分散性

体が触れるマットは全て高機能ゲル素材である **EXGEL**® (EXジェル®) とその機能を最大限に生かす伸張性の高い表皮材が使用されており、優れた体圧分散性を発揮します。

3 理想的なポジショニング

スライド可能な各パーツと自由な位置にセッティングできる腋窩枕により患者の体型にあわせた3次元的な調整と様々なアプローチに対応できるポジショニングを可能にします。

また、胴受けマット表皮材に伸張性があるため、より強固な固定で側臥位を維持できます。

4 ラテックスフリー

各マットは表皮材にポリウレタン合皮を使用しているのでラテックスアレルギーの患者にも安心してご利用いただけます。

使用方法

1 患者をベースフレームマットに載せ、側臥位にする際に腋窩枕をセッティングします。（この際、腋窩神経を圧迫しないよう、また腕がレールなどに直接当たらないよう注意してください。）



2 事前にコネクターや胴受けなどをセッティングした4本の取付バーを本体レールにスライドさせ挿入します。
胴受けマットの位置を骨盤部または恥骨もしくは腸骨（上前腸骨棘）、頭側部は胸骨に当たるような位置に調整します。
頭尾側の位置が決まったところで取付バーのレバーを倒して固定します。



3 各コネクターの高さを決めたあと、患者の前後より胴受けを適度な圧迫が加わるように調整し、ボルトを締めて固定します。



適応

- ・人工股関節置換術
- ・人工骨頭置換術
- ・回転臼蓋骨切術
- ・その他、側臥位による手術一般